

## 秋葉原ラジオセンター

秋葉原駅といえば、山手線、京浜東北線、総武線、東京メトロ、つくばエクスプレスが乗り入れる、都内でも有数のターミナル駅だ。駅周辺は昔から電気街として有名である。

電気街口から外へ出ると、上を走る総武線のガードの下に「ラジオセンター」がある。中に足を踏み入れると、やっとすれ違えるくらいの細い路地が迷路のように入り組み、その両側にお祭りの屋台くらいの小さな店が次々と並んでいる。細かな電子部品を売る店だ。ここは、様々な電子機器を自作する人たちが部品を調達するための聖地なのだ。

中学生のときからここによく出かけた。最初に作ったのはゲルマニウムラジオだった。数少ない部品でできる最もシンプルなラジオだ。ボール紙の小さな箱を見つけてきては、自分のものだけでなく友だちにも作ってあげて大いに感謝されたものだった。朝からラジオセンターに出かけては、部品を買い、昼過ぎまで一軒一軒の店を見てまわった。いつまでいても飽きることはなかった。

その後、もう少し本格的なトランジスタラジオも作ったのだが、やはり、初めて作ったゲルマニウムラジオのイヤホンからラジオ放送が聞こえてきたときのあの感動は今でも忘れられない。

そして製作熱は高まっていき、中3から高1にかけて、エレキギターを作るといふ暴挙に出たのだった。安いギターは持っていたが、大流行中のエレキギターが欲しくて仕方なかった。だが、とても買えるような値段ではない。それなら、作ってみようという訳だ。

ギターマイクなどの電気系の部品はラジオセンターで買い、弦を巻くパーツなどの楽器系の部品は、隣のお茶の水駅に出かけた。御茶ノ水駅を駿河台方面に出ると、駅前に楽器屋がたくさん並んでいる。メインはギターやエレキだ。ここで部品を見つけて買ってきた。ボディは自作した。製作に没頭し、音はしっかりと出るものが完成したが、ちやんとした演奏ができるようなものにはならなかった。

年齢を重ねてからも、秋葉原に行くことがあればラジオセンターに立ち寄る。街の様子は大きく変わってしまったが、ここにだけはいつでも「秋葉原」だ。

ゲルマニウムラジオや、不細工なあゐのエレキギターが思い出される。